

フットパスをめぐる道内各地の取り組み

フットパス全道の集い



道内各地でフットパスに取り組んでいる方々の交流、情報交換を行うことを目的とする「全道フットパスの集い」(主催:全道フットパスネットワーク準備会)が9月27日・28日の2日間にわたり開催。フットパスコースのウォーキング、各地の事例発表、参加者の交流会が行われ、100人近い参加者の間で活発な情報交換がされていました。

この集いは、これまでに札幌市、白老町、根室市で開催され、第4回目となる今回は、近ごろのフットパスに関する着実な取り組みが評価され、本町で開催されることになったものです。

集いの事例発表で報告された、各地のフットパスコースを御紹介します。



〔道内各地のフットパスコース〕

■猿留山道(えりも町)、様似山道(様似町)

蝦夷地警備を目的として江戸時代につくられた山道を利用したフットパス。太平洋を望むことのできる稜線歩き、牧草地の中にあるファームインで休憩しながら襟裳岬へ向かうコースです。また、地元の子供たちと町外のボランティアの方々が協力して笹刈りなどの道づくりを行っています。

■ウヨロ川フットパス(白老町)

NPO法人ウヨロ川環境トラストが中心となって活動を行っています。鮭が遡上し、自然産卵を行うウヨロ川沿いや、白老牛の牧場のそばを歩くことができ、コース途中にある小屋は、イベント時には休憩所として使うことができます。

■倶多楽湖山麓フットパス(登別市)

いぶり自然ガイドの会という登別市のボランティア団体を取り組んでいます。全国でも1位、2位を争う透明度を誇る倶多楽湖周辺を歩くコースです。また、この道には伝記小説の舞台になっているという歴史的背景もあります。

■ニセウ獣道フットパス(平取町)

エゾシカなどの動物によってつくられた獣道を利用して、地元有志の方々がコースをつくっています。歩いてみると立派な角をつけたエゾシカに出会うこともあります。また、日本百名山の一つである日高山脈の幌尻岳を望むこともできます。

■チョコポシナイフットパス(黒松内町)

本町では、ヨーロッパ型の農村を目指すフナ北限の里づくり構想のソフト事業として、ボランティアの方々やフットパスづくりを進めてきたこと、将来のチョコポシナイコースへの東屋の設置、西の沢コースや朱太川コースなど新コースの整備について報告しました。

フットパスウォーキング

27日にはチョコポシナイコース、28日には西の沢コースを歩き、ウォーキング日和のもと、ゆっくりと農村景観を楽しみました。また、西の沢コースの終点となるトワ・ヴェールでは、町特産のハム、チーズを使ったメニューを味わいながら、心地よい疲れを癒しました。

11月5日(土)、フットパスイベント『できたて寺の沢川遊歩道を歩こう』を開催します!

日程 8:30 役場駐車場集合
※寺の沢川遊歩道を通して、西の沢コースを歩きます。
12:00 トワ・ヴェール着
(到着後、トワ・ヴェールから役場までは、バスで送迎いたします)

参加料 1,000円(トワ・ヴェールでの昼食希望者のみ)

その他 飲料水は持参してください。

フットパスコース道標の材料を探しています!

コース上に設置する道標の材料を探しています。長さ1.5m以上、3寸角以上の木材を御提供いただける方は、担当まで御連絡ください。

■申し込み・お問い合わせ先
町企画調整課【担当:小島】
☎ 7 2-3 3 1 1(内線4 4)

写真説明

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ① | ①各地の事例報告が行われた全道フットパスの集い。 |
| ② | ②環境学習センター前で行われた交流会。 |
| ③ | ③2日目に歩いた「西の沢コース」。広々とした牧歌的景観の中を歩けます。 |
| ④ | ④参加者集合の記念撮影。 |